

「フクシマD桃太郎」の産肉能力が向上しました

福島県農業総合センター畜産研究所 肉畜科

1 部門名

畜産－豚－品種

2 担当者

矢内伸佳・門屋義勝・若井菜の子・佐藤亮一

3 要旨

本県で開発したデュロック種「フクシマD桃太郎」を安定供給するため、岐阜県のデュロック種系統豚「アイリスナガラ」(雄)と「フクシマD桃太郎」(雌)を用いて、産肉能力が向上した「新 フクシマD桃太郎」を作出した。

(1) 「新 フクシマD桃太郎」の肥育豚は、出荷日数が早く、格付けでは「上」が多くなった。

表1 肥育豚の出荷成績

	性別	一日平均増体量	出荷日数	枝肉歩留まり	背脂肪の厚さ	格付		
		(g／日)	(日)	(%)	(cm)	上	中	並
新 フクシマD桃太郎	去勢	1,073	148	63.1	1.6	3	1	1
	雌	980	154	62.8	1.4	4	1	-
旧 フクシマD桃太郎	去勢	999	156	63.5	1.8	1	2	2
	雌	902	167	64.4	1.3	4	1	-

注1) 平成20年度成績

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度～平成29年度
- (2) 研究課題名 「フクシマD桃太郎」の開放型育種の開発
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成24年度福島県農業総合センター研究報告第4号 15-27